

平成25年度「県民Webアンケート」結果の活用状況

- ※活用状況
 A 実施中の事業・施策の改善 :7
 B 現在、検討している事業・施策の参考 :3
 C 今後、事業・施策を検討する際の参考 :8
 D その他 :0

アンケートのテーマ名	アンケート実施期間	会員数	回収数	回収率	アンケートの目的	活用状況	活用状況詳細	課名
1 住みよい奈良に関する意識調査	2013/7/11 ～ 2013/7/17	212	166	78.3%	奈良県には、昭和40年以降多くの方が転入されてきました。県ではそれらの方やその子どもたちも、ずっと住んでいる方も、奈良県に住まわれるすべての方に快適に生涯を過ごしてもらえよう、各般の施策に取り組みたいです。 今回のアンケートは、これまで奈良で生活してこられた皆様の身近な生活に関する項目と県が実施している(しようとしている)取り組みについてのご意見を伺うものです。	C 今後、事業・施策を検討する際の参考	奈良が住みやすいと思われている点、住みにくいと思われている点が把握できた。県が実施している(しようとしている)施策の参考としたい。	広報広聴課
2 「ムジークフェストなら2013」開催について	2013/7/25 ～ 2013/7/31	212	183	86.3%	初開催となった昨年に引き続き、6月14日～30日の17日間にわたって奈良県内各所で開催された音楽祭「ムジークフェストなら2013」。連携イベントを含めると約10万人の方が、6月の奈良の新しいお祭りを楽しみました。 このアンケートは、県民の皆さんのご意見をお聞きし、今後の音楽祭の企画・運営に活用させていただくものです。また、昨年度と似た質問項目もありますが、昨年度からの認知度の向上があったかどうかなどを確認させていただくためのものです。	A 実施中の事業・施策の改善	認知度については、昨年と比較して一定の向上が見られることを確認できた。ただ、コンサート内容や運営方法についての意見が寄せられたことから、例えば社寺等での公演はこれまで着順で入場者を決めていたところ、抽選制を導入するなどの措置を行うこととした。	文化振興課
3 県営都市公園の利用実態・ニーズ調査	2013/8/8 ～ 2013/8/14	223	181	81.2%	奈良県には現在11の県営都市公園があり、それぞれに特徴のある都市公園として整備、管理運営を行って皆さんに利用していただいています。これら県営都市公園の利用実態とニーズを把握し、今後の実施事業の参考とさせていただくことを目的にアンケート調査を行います。	A 実施中の事業・施策の改善 B 現在、検討している事業・施策の参考	来訪頻度が高い「自動車、電車、バス等を利用して1時間程度で来訪」可能な範囲でのイベント・周知活動の強化を図るため、県庁屋上ギャラリー、周辺鉄道駅でポスター、デジタルサイネージ等を利用した情報発信を行う。また、イベントをきっかけに、県営都市公園の紹介、馬見丘陵公園でH25年度から実施している花サポーター(ボランティア)募集等の周知を行い、利用機会の拡大を図る。	公園緑地課
4 地域公共交通の確保に関するアンケート	2013/8/22 ～ 2013/8/28	227	189	83.3%	現在奈良県では、県内における地域公共交通の確保に向けて、知事を会長として各市町村長、交通事業者の代表及び近畿運輸局で組織した奈良県地域交通改善協議会において議論しているところです。 その中で、地域公共交通の改善を検討するためには、地域の生活スタイルを踏まえた移動ニーズを把握することが必要であると考えています。 そこで、県民の皆さまのご協力を頂き、地域公共交通の改善を検討する方向性を定める基礎資料とさせていただきたいと考えております。	C 今後、事業・施策を検討する際の参考	県民の目的別による移動のニーズは多様化してきているという状況を示す資料として、平成25年10月9日に開催した「第3回奈良県地域交通改善協議会幹事会」で活用。 今後は、当協議会で移動ニーズに応じた交通サービスの提供体制の構築に向けて検討を進める。	地域交通課
5 古事記・日本書紀・万葉集についての認知度、興味度調査	2013/9/5 ～	230	193	83.9%	奈良県では、古事記完成1300年目にあたる2012年から、日本書紀完成1300年目にあたる2020年までの9年に及ぶ長期のスパンで、「記紀・万葉プロジェクト」を推進しています。そこで、古事記・日本書紀・万葉集について、皆様の認知度、興味度をお伺いしたいと思います。 このアンケートは平成22年度より同様の設問で実施しておりますが、経年による変化も把握したいと思います。	A 実施中の事業・施策の改善 C 今後、事業・施策を検討する際の参考	平成22年度から同じ質問を行ったため、「記紀・万葉」に関する県民機運の変化を観察できた。4年分のデータ蓄積によって、県民の認知度、興味度等がより鮮明になり、また、記述式回答にも積極的にご回答いただき、今後の事業展開方向を考える際の参考となった。	ならの魅力創造課
「祈りの回廊」についての認知度、興味度調査	2013/9/11 ～	230	170	73.9%	奈良県では、奈良大和路の社寺を中心とした奥深い魅力に触れ、広く奈良の素晴らしさに対する認識を深めていただくことを目的として、秘宝・秘仏特別開帳をはじめとした社寺との連携事業「祈りの回廊」を推進しています。そこで、「祈りの回廊」事業についての認知度や興味度をみなさまにお伺いしたいと思います。 このアンケートでみなさまのご意見をお聞きし、今後の企画に活用させていただきたいと考えています。	A 実施中の事業・施策の改善 C 今後、事業・施策を検討する際の参考	これまでは秘宝・秘仏特別開帳情報が中心だったが、アンケートの結果をみると、僧侶の講話を聞きたいという声も多かったため、社寺の方へのロングインタビューを実施。インタビュー内容を広く閲覧していただけるように、ホームページに今後掲載する予定。その他にも「社寺情報を得る際に期待すること」として多かった伝統行事の情報なども今後、ホームページやパンフレットに盛り込んでいけるようにしたい。	ならの魅力創造課
6 薬用作物・漢方薬に関するアンケート調査	2013/9/19 ～ 2013/9/25	236	187	79.2%	奈良県は、『日本書紀』において「611年に推古天皇が宇陀地方において薬狩りが行われた」という記述があり、日本における薬のふるさとであります。 薬用作物の現在の課題として、中国産生薬の価格高騰、国内栽培の衰退などがあり、それらの課題を解決するため、『漢方のメッカ推進プロジェクト』を立ち上げ、薬用作物の栽培促進から、漢方薬等(※)の製造・研究、そして普及まで幅広く検討を行っております。 今回、特に漢方薬等の使用・普及の方策を検討するため、アンケート調査を実施させていただき、今後の業務の参考にさせていただきたいと考えております。	C 今後、事業・施策を検討する際の参考	薬剤師、製薬企業担当者が参加する「漢方研修会」においてアンケート結果をお知らせし、薬剤師には県民が漢方薬に対してどのような期待をもっているか、どのような情報を伝えるべきかなどを考えたいただき、製薬企業担当者には、商品開発に際してどのようなものが求められているかを考えていただくことで、漢方のメッカプロジェクトにおける川下対策の一部である漢方薬等の製造、使用、普及の一助とさせていただきました。また、県としてもさらなる川下対策を検討する上での参考とさせていただいております。	薬務課
7 ワーク・ライフ・バランス	2013/10/3 ～ 2013/10/9	242	205	84.7%	奈良県ではワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現を目指し、県内事業所の働きやすい職場づくりに関する取組を推進するため広報・啓発活動を行っています。 前回(2年前)のアンケート結果と比較することにより広報活動の効果測定し、また、県民の皆様のワーク・ライフ・バランスに関する考え方及び要望をお聞きし、今後の働きやすい職場づくりに関する取組の方向性を検討したいと考えています。 つきましては、さらに効果的な広報・啓発活動を行うための参考とさせていただきたいので、ご意見をお聞かせください。	A 実施中の事業・施策の改善	23年度に引き続き質問内容を多少変更し2年度目のアンケートを実施したところ、依然ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組が求められていることが確認できた。 しかし、ワーク・ライフ・バランスを実現できていると実感している方の割合はまだまだ低いため、社員・シャイン職場づくり推進事業において県内事業所のみならず一般県民や求職者にもむけても啓発活動を行い、働きやすい職場づくり及びワーク・ライフ・バランスの実現への機運醸成を図る。	雇用労政課
8 消費の現状と今後について	2013/10/17 ～	242	194	80.2%	平成26年4月より消費税が8%に上がることが正式に発表されましたが、今後ご自分の消費にどのような影響が考えられるかお聞きかせ下さい。また、百貨店など大規模な商業施設での消費についてもお聞きかせ下さい。それらの結果を踏まえ、消費行動を充実させるため必要な施策を検討してまいります。	B 現在、検討している事業・施策の参考	消費税率引き上げ後に伴う消費の落ち込み対策として、プレミアム商品券の発行を行う。 また、本結果や他の統計調査結果などを踏まえ、消費行動につながる施策を検討していく。	産業政策課
9 これからの奈良県の住まい(街並み)について	2013/10/23 ～	242	194	80.2%	奈良県には、様々な地域や住宅にお住まいの方々がおられます。その方々が今後も引き続き、奈良県に安心して住み続けられるような住まい(街並み)の形成に向けて、学識経験者などを交えた「奈良県住生活推進委員会」において検討・議論を進めているところであります。 このアンケート調査では、皆さまの「住まい」や「今後の住みかえ」についてのご意見をお聞きし、今後の住宅・住生活に関する企画・取り組みの検討に活用させていただきます。	C 今後、事業・施策を検討する際の参考	県にはニュータウンや過疎地など様々な地域があります。県民の意見を参考に住みよい住環境の形成に向け検討を進めます。	住宅課
10 公共施設の利用状況と公共施設に求めることについて	2013/10/31 ～ 2013/11/6	242	192	79.3%	奈良県では、人口や税収が減少していく中、改修や建替えが必要な施設を多数保有しています。厳しい財政状況下においても、県民の皆様が必要とする行政機能や住民サービスを継続するための施設を維持していくという「ファシリティアマネジメント」の取組を進めています。 そこで、公共施設に対する皆様のお考えを把握していくため、施設の利用状況や施設に求めることなどを調査するアンケートを実施いたします。	B 現在、検討している事業・施策の参考	アンケートを通じて、県民の方がどのくらい公共施設を利用されているのか、どのような部分に不満をお持ちなのかについて、理解が深まった。また、今後の公共施設のあり方に対して、多数の幅広い意見をいただいたことにより、県民目線に合った検討を進める参考となった。	ファシリティアマネジメント室
11 木材と県産材に関する意識調査	2013/11/14 ～ 2013/11/20	242	188	77.7%	奈良県は吉野材など古くから木材の産地でしたが、近頃は木造建築や和室が少なくなるとともに外国産の材木の輸入により県産材が使われなくなっています。そこで、県民の皆様が木材や県産材(吉野材)に関する意識をこのアンケートでお尋ねし、今後、県産材の魅力や情報発信する際の参考にしたいと考えています。	C 今後、事業・施策を検討する際の参考	現在、他で実施したアンケートの結果と合わせ、木材や県産材(吉野材)に関する意識について分析中である。得られた調査結果は、今後、県産材の魅力や「奈良県森林技術センターだより」などで情報発信し、需要を拡大するための事業・施策を検討する際の参考にしたい。	森林技術センター木材利用課
12 日頃のスポーツ・運動の取組状況等について	2013/11/28 ～ 2013/12/4	242	198	81.8%	スポーツ振興課では、平成25年3月に県民の「だれもが、いつでも、どこでも、運動・スポーツに親しめる環境づくり」を基本目標とした「奈良県スポーツ推進計画」を策定しました。その目標実現に向け、県民の皆様の日頃のスポーツ・運動の取組状況等をお伺いし、現状把握、課題発見・解決に邁進したいと考えております。 なお、問いにある「運動」は、日常生活の中で意識して行う「散歩」、「階段の利用」、「徒歩・自転車通勤」など身体を動かすこと全般を指しています。	C 今後、事業・施策を検討する際の参考	奈良県スポーツ推進計画の基本目標を実現するための参考指標の検証に活用。また、運動実施率が十分でない結果等を踏まえ、より一層、県民一人ひとりが健康づくりに取り組み、「だれもが、いつでも、どこでも運動・スポーツに親しめる環境づくり」を推進するための施策を実施。	スポーツ振興課
13 労働委員会制度の認知度調査	2013/12/12 ～	242	188	78%	奈良県労働委員会では、広く労働委員会の業務、役割を知っていただくため、ホームページの開設や街頭啓発による広報などを行っています。平成22年度に当委員会の認知度をお伺いするアンケートを実施しましたが、今回はその後のPR活動の効果を検証するため、皆様からご意見を伺い、今後の業務運営に反映させていきたいと思います。	A 実施中の事業・施策の改善	3年前の前回アンケートに比べ、労働委員会が労使トラブルの解決を扱う機関であることの認知度が向上しているが、労働組合関係だけでなく個々の労働者の労働紛争も扱うこと及び無料で利用できることの認知度がまだ低いので、この点に重点を置いてPRを行う。	労働委員会事務局
14 県の広報媒体について	2013/12/18 ～	242	188	78%	県政広報に関する中心媒体である県広報紙「県民だより奈良」とそのテレビ版「県民だより奈良『ならいいね!』」の認知度を調べ、より一層の内容充実を図るためにアンケートを実施します。	A 実施中の事業・施策の改善	・アンケート結果から、「県民だより奈良」については県政情報の入手媒体として定着しており、また、寄せられた自由意見から、掲載情報についても有効に活用されていることがうかがえる。結果には、コーナー別の人気状況も表れており、これらを踏まえながら、平成26年度では、「情報ファイル」の掲載内容などについて一層の充実を図る。 ・一方、「県民だより奈良」のテレビ版「ならいいね!」については、認知度がまだまだ低いことから、誌面のデザインがリニューアルされるH26年5月以降、「ならいいね!」の告知欄の文字を大きく、わかりやすくするとともに、さまざまな機会をとおして認知度向上に向けた取組を行っていきたい。	広報広聴課